

組織だから出来る研修活動や地域への農業理解にむけて

プロジェクト発表・地域活動 北野町 北野町4Hクラブ

●●● 北野町4Hクラブの特徴 ●●●

北野町に在住の若手農業者16名で構成する、青年農業者の組織です。会員のほとんどが施設園芸（野菜）で雇用型経営を行っており、規模拡大の意欲を持っています。

農業における知識・技術の習得や、経営における課題の解決方法の検討、また、農業に対する地域住民への理解促進のために、様々な活動を行っています。

●●● 課題解決への取組 ●●●

毎年テーマを決めて、農業経営における課題解決に取り組み、地域の青年農業者会議でも常に上位表彰されています。今年はスマートフォンを活用した栽培履歴システムを作って農作業省力化の研究を行っています。

●●● 農業の理解にむけて ●●●

毎年、地域の6つの幼稚園と保育園を対象に、もち米の田植えや稲刈り、餅つきなどの農業体験を実施しています。子供たちに農業に興味をもってもらえるように継続して取り組んでいます。

●●● 今後に向けて ●●●

子供たちとの触れ合いなど、消費者交流事業を続けていくことと、課題解決に向け取り組んだ研究成果を、会員や地域にも広めていくことで、北野町の農業経営に貢献していきたいと考えています。



プロフィール

《北野町4Hクラブ》

- 構成員/北野町地区20代の農業者16名（代表：橋原 智也さん 27歳）
- ※ 4Hクラブとは、農村の青少年が地域社会において交流と親睦をはかりながら、農業の生産技術や経営を学ぶとともにひろく生活上の課題を解決する力を養うことを目的として作られた学習グループ。4HとはHead（頭）、Hand（手）、Heart（心）、Health（健康）の頭文字をとったもので、活動の目標を象徴している。



創意工夫し、自らが考える農業を 実践したい

野菜経営 北野町 馬場 剛さん（23歳）

●●● 就農のきっかけ ●●●

高校卒業後の進路に悩んだとき、両親の勧めもあって農業大学校へ進学しました。卒業後、長野県の先進的な生産農家での半年間の研修を経て、21歳のときに親元で就農しました。

●●● うれしかったこと・辛かったこと ●●●

長野県での研修は、収穫や調整など慣れない作業も多く、本当に辛く大変でしたが、今では、そのときに苦労したことが貴重な経験となり、創意工夫し、自らが考える農業の基礎となっています。

●●● 農業への思い・こだわり ●●●

消費者のことを常に意識し、店頭での見た目も考えながら収穫し、特に品質にはこだわりを持って生産を行っています。

水菜、小松菜、リーフレタス、ほうれん草が主力ですが、新たに玉レタスの生産も開始し、積極的に品目の規模拡大をしています。

●●● 今後の方向性・展望 ●●●

今後は、規格外品を使った商品開発など、様々なことに挑戦していきたいと考えています。

また、北野町4Hクラブに積極的に参加し、幼稚園や保育園での田植えや稲刈りなどの農業体験活動を通して農業の大切さを教えたり、地域の生産組合の収穫作業を担うことで、地域の農業を大切に守っていききたいと考えています。



プロフィール

- 労働力構成/本人、父、母、祖母、外国人実習生4名、臨時雇用2名
- 就農年数/2年
- 耕作(経営)規模/490a
- 販路/北九州青果、新筑豊青果

